

# Рахмат & Спасибо

～ありがとう～ 国語キルギス語「ラフマツト」と公用語ロシア語「スパシーバ」



皆さん、こんにちは。 Саламатсыздарбы! (キルギス語)  
Здравствуйтесь! (ロシア語)

呉三津田高等学校英語科の向井緑です。ケミン第 2 中等学校で、英語の授業や補習、日本文化の紹介、日本の学校との交流などを行っています。こちらに来て半年が経ち、地域の人々に親しく声を掛けてもらえるようになりました。今回は、学校行事や年末年始の過ごし方についてお伝えします。

## ◆教師の日(10月5日)

先生に感謝する日です。この日は上級生が先生になって下級生のクラスで授業をします。先生役を体験した生徒たちは教えることの難しさを実感したようです。授業後には祝賀会が開かれ、先生に感謝する詩の朗読やダンスなどが披露されました。



3年生を教える11年生



教師の日を祝うポスター



先生へ感謝の言葉



祝賀会でのダンス

## ◆秋祭り(10月16～17日)

芸術的な生徒作品や季節のサラダが展示され、歌やダンス、ファッションショー、伝統楽器コムズの演奏など様々なイベントがありました。女子は色とりどりのドレス、男子はスーツを着て参加し、キルギスの短い秋を満喫していました。



コムズの演奏



9年生の歌とダンス



鮮やかなビーツのサラダ



材料は豆やマカロニ



ポスター発表



ファッションショー



5～6年生のダンスパーティ



野菜の彫刻作品

### ◆世界エイズデー(12月1日)

レッドリボンを付けた生徒たちが「エイズに立ち向かう！」というプラカードを掲げ、白い息を吐きながら町内を行進しました。「エイズ啓発活動コンクール」では、学校と病院が合同チームを組み、エイズをテーマにした寸劇、自作ビデオの上映、歌やダンス、ポスター発表が行われました。会場は満員でキルギスの人々のエイズに対する意識の高さを感じました。



行進の様子



日本語でも呼びかけました



息の合ったダンス



学校と病院のコラボ

### ◆クリスマス&新年パーティ(12月28日)

キルギスでは12/31~1/1にクリスマスと新年が同時にやって来るようです。ポスターには「サンタクロース」と「新年おめでとう(С НОВЫМ ГОДОМ)」と一緒に描かれています。12月下旬、体育館に約3mのモミの木(ヨルカ)が飾られました。子どもたちはドレス、スーツ、動物や英雄の着ぐるみでヨルカの周りに集まり、歌ったり踊ったりして楽しい時を過ごしました。日本と同じように「干支」もあり、手作りのサルに着ぐるみで参加した生徒もいました。



人口の70%以上を占めるキルギス系家庭と、私がステイしているロシア系家庭(約6%)では年末年始の過ごし方も異なるようです。うちでは、12月31日午後から数種類のサラダ、イクラ(これはロシア語です)のオープンサンドイッチ、ケーキを作りました。手に入る材料を使って、巻き寿司やお好み焼きといった日本料理も準備しました。また、パイナップルやキウイなどこちらでは珍しい果物も食卓に上りました。夜11時過ぎから家族が集まり、新年を迎えるパーティの始まりです。0時になると、どの家庭も一斉に通りに飛び出し、爆竹や花火を打ち上げて新年を祝います。大統領の年頭演説をテレビで見ながら午前3時頃まで祝宴が続き、朝方に少し眠って昼過ぎからパーティ再開です。一方、キルギス系家庭では、12月31日から数日間かけて大勢で親戚や友人宅を訪問し合い、羊肉を中心としたご馳走を振る舞って、夜遅くまで賑やかに新年を祝うそうです。



新年を祝う彩り豊かな料理



伝統菓子「チャクチャク」



ステイ先の家族と